

■「夢を語る経営者」と「結果を出す経営者」の違い

項目	夢を語る経営者	結果を出す経営者
ビ ジ ョ ン	抽象的で耳障りが良い	明確な数値目標と KPI 付き
実 行 計 画	乏しい or 実現可能性不明	ステップと期限が明示されている
評 価 指 標	イメージ・ブランド志向	利益・キャッシュフロー・株主価値
リーダーシップ	理想追求型	現実対応型・改革実行型

「夢を語る人」と「結果を出す人」は、リーダーとしての資質や実行力において明確な違いがある。

夢を語る人は、ビジョンや理想を語る力に優れ、組織や周囲に希望や共感を与えることができる。彼らは抽象的な言葉や未来志向のメッセージで人を動かすが、その一方で、現場に必要な具体策や実行力、数値による裏付けが乏しいことも多い。実現の道筋を明確に示せなければ、その夢は空虚なスローガンに終わってしまう。

一方、結果を出す人は、目標を具体的に設定し、段階的に成果を積み上げていく。理想を語る前に現実を見つめ、リスクや制約の中でベストな選択をしながら進める実行型リーダーである。たとえ発信力に欠けていても、結果で信頼を築き、組織を安定的に導く力を持つ。

組織においては両者のバランスが求められるが、特に変革期や危機の局面では、理念よりも実績で信頼を勝ち取る「結果を出す人」の存在が不可欠である。

